

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会
2023（令和5）年度定時社員総会 議事録

1. 開催日時：2023（令和5）年8月25日（金） 12:20～13:31

2. 場 所：東京大学・先端科学技術研究センター
(東京都目黒区駒場4-6-1)

3. 社員総数 65名（議決権は、各1個）

出席社員数 51名（出席25名、議決権行使書提出者数16、委任状提出者数10（議長10））

※オブザーバー（協会正会員および学生会員）出席者数3名

出席理事（社員） 河合俊宏（会長（代表理事））、
桂律也（副会長）、江原喜人（副会長）、中村俊哉（副会長）
石濱裕規、植田瑞昌、中村詩子、早川康之、

出席監事（社員） 赤澤康史、伊藤和幸

出席理事 伊佐拓哲、岡野善記、鈴木太、村田知之、森田千晶、山田賀久

書記 深野栄子（協会事務局）

欠席理事 杉本昌子

議事録署名人 佐藤史子（障害者スポーツ文化センター ラポール上大岡）
松田靖史（川村義肢株式会社 K-tech）

4. 審議事項

第1号議案 2022年度事業報告（案）

第2号議案 2022年度決算報告（案）／監査報告

第3号議案 2023年度事業計画（案）

第4号議案 2023年度収支予算計画（案）

第5号議案 新役員の承認について

5. 社員総会資料

資料1 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2022年度事業報告（案）

資料2 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2022年度決算報告（案）

資料3 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2022年度監査報告

資料4 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2023年度事業計画（案）

資料5 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2023年度収支予算計画（案）

資料6 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 新役員の承認について

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

江原副会長（総務統括）より、本日の社員総会は定款第28条、29条により定数を満たしたので、有効に成立した旨（社員総会規則第2条第1項により、社員総会を招集した2023年8月1日時点での、社員数は65名。総会会場の参加者25名、議決権行使書による参加者16名、有効な委任状による参加者10名、合計51名を告げたのち、河合会長が定款第27条の規定に基づき議長に就任し（定款第28条第4項「議長は、社員として表決に加わることはできない。）、開会の辞を述べた。

定款第31条第2項「議長及び出席した社員の中から選任された2名の議事録署名人は、前項の議事録に署名又は記名押印する。」より、出席の代議員より議事録署名人2名を選出した。

審議は密接に関係する内容の第1号議案と第2号議案、第3号議案と第4号議案は一括説明とし、議案ごとに個別に決議することとした。

定款 28 条第 1 項

「社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、社員総数の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した社員の議決権の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の裁決するところによる。」

同条第 2 項

「前項の規定にかかわらず、次の決議は、社員総数の半数以上であって、社員総数の議決権の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行う。」

定款第 29 条第 1 項

「社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法により表決し、又は他の社員を代理人として表決を委任することができる。」

同条第 2 項

「前項の場合における前2条の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。」

議案に入る前に資料の訂正をした

【誤字・脱字等、資料の修正について】

今回の総会資料につきましては、8月23日(水)の夕方、ホームページに修正版の資料を掲載しています。そちらの資料をお持ちの方は、そのままで結構です。それ以前の資料をお持ちの方は、これからお伝えする点を修正いただければと思います。

◆意見（敬称略）

田中芳則：表紙から 2 ページ目（2023 年度定時社員総会 資料集 目次）

最下行のページ数(2 と表記)を削除してください。

◆意見（敬称略）

田中芳則：【資料 1】5 ページ

2022 年度 SIG 活動報告 期間：2022 年 7 月～2023 年 6 月

以下、訂正をお願いします。

車いす SIG

(誤)・第36回リハ工学カンファレンスでの企「車椅子選びと機能の選定・姿勢の作り方」開催

(正)・第36回リハ工学カンファレンスでの企画「車椅子選びと機能の選定・姿勢の作り方」開催

◆意見（敬称略）

田中芳則：【資料 1】7 ページ

2-7 事業統括事業

以下、訂正をお願いします。

2) セミナー開催

(誤)バリアフリー2023でプレゼンテーションセミナー施した。

(正)バリアフリー2023でプレゼンテーションセミナーを実施した。

・講演者：芝崎 泰造(所属：三貴ホールディングス株)

・講演者：芝崎 泰造氏(所属：三貴ホールディングス株)

3) 情報保障の拡充

(誤)～メダル獲得までの協働的な取り組み～」(2022 年 8 月 20 日(土))での情報保証(リアルタイム字幕配信)を実施した。

(正)～メダル獲得までの協働的な取り組み～」(2022 年 8 月 20 日(土))での情報保障(リアルタイム字幕配信)を実施した。

◆意見（敬称略）

田中芳則：【資料 1】12 ページ

「【別紙】支部の 2022 年度事業報告 中部支部 2) 主要事業」

支部セミナーの開催 兼 第3回リハ工 ミライ・アッセンブリーへの協力

以下、訂正をお願いします。

(誤)講師:長東晶夫氏(なごや福祉用具プラザ)、城野友哉氏、本田優介氏(金沢福祉用具情報プラザ)
北野義明氏(石川県リハビリテーションセンター)、渡辺崇史氏(日本福祉大学)

(正)講師:田中芳則氏、長東晶夫氏(なごや福祉用具プラザ)、城野友哉氏、本田優介氏(金沢福祉用具情報
プラザ)、北野義明氏(石川県リハビリテーションセンター)、渡辺崇史氏(日本福祉大学)

中部支部・渡辺崇史氏(日本福祉大学)よりリハ工事務局へ訂正の連絡を入れてもらうようにしましたが念のため記述しました。なお「リハビリテーション・エンジニアリング Vol.38 No.2」の131ページに第3回リハ工・ミライ・アッセンブリーに参加して(加藤有香氏の報告記事)の図1に田中が映っていることからも講師として参加していることがわかります。

■回答:ご指摘ありがとうございます。多大なるご協力をいただきながら、お名前が抜けておりましたこと、誠に申し訳ありません。連絡はいただいておりましたので、修正させていただきます。

第1号議案 2022年度事業報告に関する事項

議長より社員総会資料1に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 51票(出席代議員25名、議決権行使書16票(※議長除く)、議長への委任状10票)、

非承認0、棄権0

◆質問(敬称略)

田中芳則:【資料1】2ページ

「2. 事業 2-1. リハ工学カンファレンス関連 2) 第37回リハ工学カンファレンス準備」
第37回リハ工学カンファレンス事務局の運営についてお聞きしたい。

①問い合わせへの対応について

演題募集の期間中の4月3日に私がホームページの内容についてWebフォームから質問したところ、1週間たっても回答がありませんでした。メールで回答を催促したところ、ようやく4月13日にカンファレンス担当の鈴木理事よりメールが届きました。なぜ回答が10日もかかってしまったのでしょうか。

また、カンファレンス事務局から回答していただけると思っていましたが、カンファレンス担当理事からだったので気になりましたし、即時性がなく、対応があまりにもお粗末としか思えません。どうしてこのような結果となってしまったのか説明を求めます。

■回答:ご質問いただきありがとうございます。

演題募集時の回答が遅れた件につきましては、カンファレンスホームページは問合せをメールのみの対応と決定していました。しかし、ホームページを準備する際、中のプログラムの設定を間違え、投稿に対する質問を受け付ける設定になっていました。田中様の質問に気が付いた時点から投稿に対する質問は受け付けに設定へ変更しました。担当者が決まっていなかったため反応に時間がかかり、担当理事からの回答になりました。

②問い合わせ内容について

「第37回リハ工学カンファレンス in 東京」Webサイトには当初の演題募集時(3/20~4/21)に開催テーマ名しか掲げられておらず、演題募集期間中であってもカンファレンス開催の概要説明がなかった理由をお教えください。上記①のようにWebフォームから開催概要の説明を求めていました。

その後、想像していたとおり、演題申込数が少なかったのか演題募集期間が延長されました。そして5月3日にはカンファレンス実行委員長の並木様よりメールをいただき、概要説明がWebサイトへ掲載されました。開催テーマだけでは主旨や開催の目的など詳細がわからぬので、リハ工学協会正会員でも参加を躊躇します。初めて参加を検討しようと思っている人には不適切、あるいは合理的配慮がなかったと言わざるをえません。説明を求めます。

■回答:ご質問いただきありがとうございます。

概要説明についてですが、実行委員会を月1回開催する中でまとまりきっていませんでした。インクルーシブ社会をテーマに進める大枠しか決まっていなかったため、実行委員会をすすめる中でどこを注目してい

くかが決まっていったため、結果として概要説明が遅くなりました。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】2ページ

「2-2 福祉機器コンテスト関連 1) 福祉機器コンテスト2022」

① 一次選考会の開催

学生部門しか応募数が掲載されておりません。機器開発部門の応募数をお教えください。また学生部門、機器開発部門とも昨年度との比較で応募数の増減を教えてください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

福祉機器コンテスト2022の応募総数は42件（前回37件）となります。その内訳は、機器開発部門26件（前回20件）（会員5件、非会員21件）、学生部門16件（前回17件）（会員0件、非会員17件）です。

これらの数字は、修正版の資料の方に追加しています。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】3ページ

「2-2 福祉機器コンテスト関連 2) 福祉機器コンテスト2023」

機器開発部門は掲載がありますが、学生部門での申込数がわかりません。現時点での申込数をお教えください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

福祉機器コンテスト2023の応募総数は42件（前回42件）となります。その内訳は、機器開発部門21件（前回26件）（会員8件、非会員13件）、学生部門21件（前回16件）（会員0件、非会員21件）です。

これらの数字は、修正版の資料の方に追加しています。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】4ページ

「2-3 協会誌関連 4) 協会誌の段階的電子化」

…発刊後1年を経過した特集記事をフリー公開（協会誌にも掲載）

→フリー公開について補足説明をお願いします。執筆者がフリーで公開してよいという意味でしょうか。またはJ-Stageなどへ有料ではなくフリーで公開するという意味でしょうか。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

フリー公開とは、（J-stageで）、誰でも閲覧が可能ということです（認証なし）。なお、当誌は、現時点では、CCライセンスの設定を定めていないため、オープンアクセス誌とはいえません。

オープンアクセス：発行機関でオープンアクセスのポリシーを定めている場合に設定します。誰でも閲覧が可能、書誌画面には「オープンアクセス」と表示されます。なお「オープンアクセス」を設定する場合は、二次利用の範囲を示すライセンスとしてCCライセンスの設定も必要です。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】4ページ

「2-3 協会誌関連 5) その他」

2022年11月8日に協会事務局へ問い合わせした「複製権および公衆送信権の利用許可申請手続き」について、日本リハビリテーション工学協会には「論文等の転載許可願い」の様式がありませんでした。

その後、リハ工学協会の沖川様より承諾のメールをいただきましたが、今後、学会誌や専門商業誌への論文投稿で、筆者から転載許可願いの提出を求められることの事案が出てくると思われます。

書類や手続きを整備する必要があると思いましたが、その後、様式を準備した等の結果をお教えください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

「今、作業療法ジャーナル（三輪書店）への原稿を書いています。過去のリハ工学カンファレンス論文集より、資料および図表の引用を行いたいので「複製権および公衆送信権の利用許可申請手続き」についてお教えください」というご質問に関連してのお問い合わせかと思います。

「引用」は、著作権法上、「公正な慣行に合致しており、かつ目的上正当な範囲内」の場合、出典を明示し、原形を保持し、引用部分を明瞭に区分すれば、認められています。従いまして、「引用」であれば、「転載許諾願」等の申請は不要と考えられます。

一方、転載とは、「引用の範囲を超えて、既存の出版物などから文章や図表等を別の出版物に掲載すること」

であり、その場合は、「転載許諾」が必要です。

<https://www.medbooks.or.jp/copyright/forauthor/quot.php> (日本医書出版協会)

この際の「転載許諾願」の書式は当誌にはありません。医学系出版社などは転載許諾フォーマットを HP 等に公開しています。他学会では、「本文等を大幅に引用する場合および図表を転載する場合、著作権所有者の許諾を得る。」(日本機械学会等)、ガイドラインや図表などにつき転載許諾フォーマットの提出を求める(規模の大きい医学系学会等)などの対応があります。本誌において、「引用」の範囲を超える「転載」につき、様式を整備するかどうかにつきましては、分野上、文献中における図表等の割合が高い特徴もあり、編集委員会、カンファレンス実行委員会等にて協議調整するお時間を頂ければ幸いです。

◆質問 (敬称略)

田中芳則：【資料1】6ページ

SIG 住まいづくり <http://www.resja.or.jp/sumai-sig/>

2023年8月17日にアクセスしましたが、Not found と表示され、ページが存在しません。表記を削除するか新しいWebサイトのURLを掲載してください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

確認しましたが、このURLから、住まいづくり SIG のHPに移行することができます。ただし、セキュリティ保護の無いURLなので、セキュリティの設定によっては表示されない可能性があります。また、SIG 住まいづくりのHPは、10年以上更新されておらず、今回の事業計画でも「ホームページ見直し」が計画としてあげられています。SIG 住まいづくりに限らず、更新が滞っている SIG や HP そのものが存在しない SIG もあり、SIG 担当理事として、各 SIG のHPの充実に努めていきたいと思います。ご指摘ありがとうございました。

◆質問 (敬称略)

田中芳則：【資料1】7ページ

「2-7 事業統括事業 3) 情報保障の拡充」

この情報保障(リアルタイム字幕配信)はどのような機材やソフト・アプリを利用したのかわかる範囲でお教えください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

ZOOM配信に対し、オンラインでの人による完全リアルタイム文字起こしでした。使用した機材やソフト・アプリはありません。

◆質問 (敬称略)

田中芳則：【資料1】7ページ

「2-8 国際関連の事業 1) 国際関連団体との相互協定に基づく交流」

井上剛伸氏、桂律也氏の派遣費用は日本リハビリテーション工学協会が支出したのでしょうか。お教えください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

GAATO の理事会は全てオンラインで開催されており、現地には派遣しておりません。そのため、派遣費用は発生せず、予算計上もしていません。

◆質問 (敬称略)

田中芳則：【資料1】8ページ

「2-9 災害対策関連 2) 災害対策委員会の運営と大規模災害時の協会の対応 ②一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)活動」・JRAT 発行書籍『災害リハビリテーション標準テキスト第2版』への分担執筆、出版への協力

医歯薬出版から出版されたこの書籍は、執筆者一覧から河合会長と水澤二郎氏の2名が関わったことがわかりました。その他リハ工学協会関係者で執筆された方はありますか。またその執筆はどんな内容か概要をお教えください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

会長以外の当協会からの執筆者はいません。会長が担当した部分は、当協会によるJRATとしての災害支援の方法と活動期間についての説明、東日本大震災以降の活動、現在の協会内体制について紹介しています。

東日本大震災以降のJRATのノウハウが追加されていますので、ぜひご購入下さい。

◆質問 (敬称略)

田中芳則：【資料1】8ページ

「2-9 災害対策関連 2) 災害対策委員会の運営と大規模災害時の協会の対応 ③頸損連会誌の災害関連記事執筆依頼への対応」

リハ工学協会関係者で執筆されたのか、すでに掲載されたのか記事内容も含め、対応結果をお教えください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

全国頸髄損傷者連絡会から、4月発行の防災をテーマにした機関誌への、JRATに関係されている方で、障害（頸損）当事者はどう動く、意見、被災時どう困っていた、助言などを執筆いただける方の執筆者紹介の依頼がありました。

JRAT各委員会に依頼して、加藤真介医師の推薦があり、同氏に内諾をいただき全国頸髄損傷者連絡会に紹介しています。

機関紙は発刊され、全国頸髄損傷者連絡会のホームページへもバックナンバーが電子化され掲載予定とのことです。直接の執筆者ではないため、内容の確認はできません。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】9ページ

「3-4 広報・渉外 3) Web管理委員会の運営」

・協会ホームページサーバーの変更を次年度に向けて検討

検討しているのは現状の料金のことなのか、容量なのか、使い勝手なのか変更理由をお教えください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

現在使用しているサーバーでは、今後各SIG・支部等のサイトを併設していく際、容量と数量に制限があり、サイトを開くことが出来なくなっています。また、メールサーバーのサポートも期待するほどアクティブではなく、迷惑メールが増える一つの理由にもなっています。今後、時代に即した新しいサーバーに切り替えることで、サイトの運営・メール配信等、安全に適切に運用できるように進めていく予定です。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料1】10ページ

「5後援・協賛事業」

11 後援 合同会社ハマナカデザインスタジオ 2023/5/4~6 FABRIKARIUM TOKYO 2023

この合同会社のみの掲載は不適切です。

Webサイトで確認しましたが、主催団体は「ファブラボ品川」で、このファブラボ品川を運営するのが、合同会社ハマナカデザインスタジオと一般社団法人3Dプリンタ自助具デザイン協会ですので、ここは「ファブラボ品川」あるいは「合同会社ハマナカデザインスタジオ&一般社団法人3Dプリンタ自助具デザイン協会」のどちらかで表記すべきです。訂正をお願いします。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

主要メンバーで当協会会員でもある林園子さんに確認しました。「ファブラボ品川」と「MyHumanKit」の2つの団体が、主催ということでした。訂正します。

この内容は、修正版資料の方で修正済みです。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

第2号議案 2022年度決算報告（案）／監査報告

議長より社員総会資料2・3に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 50票（出席代議員24名、議決権行使書16票（※議長除く）、議長への委任状10票）、

非承認1、棄権0

◆質問・意見等（敬称略）

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対しての回答】

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料2】

17ページ損益計算書

【入会金収入】12,000 なっていますが、2ページ目の会員数を見ると正会員は1名しか増えていません。新入会が12名もおりません。どういうことが説明をお願いします。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

入会者は、年度当初入会2名、下半期入会10名の合計12名です。ですので、入会金収入は、12,000円で間違いございません。正会員数が1名しか増えていないようにみえるのは、年度途中での退会者がいるためです。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料2】

17ページ損益計算書

【会費収入】

一般会費収入5,225,000 なっていますが、会費の半額免除の人がいるものと思われます。新規の正会員1名が半額免除だったということでしょうか。

また、そうだとすると523名分の会費収入があり、正会員558名のうち35名が会費未納ということでしょうか。説明をお願いします。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

一般会費収入5,225,000の内訳は、正会員513名分で、一般会費収入513名分 5,080,000円（年度当初503名、下半期10名）+一般会費（過年度分）145,000円（15名）となり、この15名は513名の内数となります。

正会員558名なっていますが2022年度途中退会者2名が含まれていますので実際は556名となります。申し訳ありませんが、2ページ目の2023年6月30日現在の正会員数も558名から556名に修正させていただきます。

一般会費収入513名中2022年度途中退会者9名のため、正会員556名のうち会費未納者は52名となります。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料2】

17ページ損益計算書

【会費収入】

学生会費収入14,000 なっていますが、学生会員は2ページ目の会員数を見ると学生会員3名なっています。会費が4,000円なので12,000円のはずです。残りの2,000円はどこからの収入でしょうか。リハ工学協会の入会案内に学生も半額免除の規定がありますが、そうすると学生会員は4名になります。数が合いません。説明をお願いします。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

年度当初入会が2名（4,000円×2名）、下半期入会が3名（2,000円×3名）ですので学生会費収入14,000円となります。

併せて、2ページ目の2023年6月30日現在の学生会員数を3名から5名に修正させていただきます。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料3】2022年度監査報告

3. 付帯意見

4) 新しい会計システムが軌道に乗り、過去に遡って正しい会計処理ができたこと…

この「新しい会計システム」について、どんなものか補足説明をお願いします。これまでできていなかつた過去に遡って正しい会計処理ができる特徴でしょうか。前の会計処理との違いがわかれればお教えください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

会計システムが粉々らしい表現となっており申し分けありません。

前年度との会計処理について改善した点は、借入金と貸付金の処理です。

仕訳からシステム入力までの情報の流れを精査し、正確に資金の流れを把握できるようにコードの新設・改善を行っております。ハードウェア、ソフトウェアの変更はありません。

また、一般社団法人開設当初から前年度のデータについても精査及び整理を行い会計士の協力も得て改善し貸借対照表の精度を向上しました。前年度までの改善は、部門・形態別コードの導入による経理の立体視化、任意団体から一般社団法人移行に伴う借入金問題の解決が主にあげられます。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

第3号議案 2023年度事業計画（案）

議長より社員総会資料4に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 51票（出席代議員25名、議決権行使書16票（※議長除く）、議長への委任状10票）、

非承認0、棄権0

◆質問・意見等（敬称略）

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対しての回答】

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料4】21ページ

「1-2福祉機器コンテスト関連 1) 福祉機器コンテスト2023」

①一次選考会

機器開発部門、学生部門での応募数をお教えください。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

福祉機器コンテスト2023の応募総数は42件（前回42件）となります。

その内訳は、機器開発部門21件（前回26件）（会員8件、非会員13件）、学生部門21件（前回16件）（会員0件、非会員21件）です。

これらの数字は、修正版の資料の方に追加しています。

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料4】23ページ

移乗SIG

旧移乗機器SIGが改名して協会内SIG設立したとの理解で合ってますでしょうか。説明をお願いします。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

旧移乗機器SIGは、協会の2021年度に解散し、2023年7月1日付で「移乗SIG」として協会内SIGが設立されました。ご指摘の通りです。

◆意見（敬称略）

田中芳則：【資料4】25ページ

「1-6災害対策関連事業 4) 他団体との協働」

・JRAT、JAWS、JASPA・・・

・DMAT等の・・・

JAWSとDMATの団体説明が総会資料全体を見てもなかったので、JASPA（日本福祉用具・生活支援用具協会）のようにわかりやすく追記をお願いします。

■回答：ご指摘ありがとうございます。修正いたします。

失礼いたしました。

JAWS（Japan Association of Wheelchair and Seating：日本車椅子シーティング協会）

JASPA（Japan Assistive Products Association：日本福祉用具・生活支援用具協会）

DWAT（Disaster Welfare Assistance Team：災害福祉支援チーム）

の略になります。各団体の活動内容などについては、割愛させていただきます。

この内容は、修正版資料の方で修正済みです。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

◆質問（敬称略）

田中芳則：事前の質問に対してすべて回答いただいているがそのまま回答いただけないのでしょうか。

■回答：回答説明が漏れていますので説明いたします。第1号議案、第2号議案、第4号議案への事前質問への回答を説明された。

第4号議案 2023年度収支予算計画（案）

議長より指名され財務担当理事より社員総会資料5に基づき説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 51票（出席代議員25名、議決権行使書16票（※議長除く）、議長への委任状10票）、

非承認0、棄権0

◆質問・意見等（敬称略）

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対しての回答】

◆質問（敬称略）

田中芳則：【資料5】33ページ

2023年度予算案 収入

入会金（今年度分）50,000円をあげていますが、昨年度も同額の計画で実績は1名ではありませんでした。50名の新規会員を獲得するつもりで広報やそのほかのことで力を入れるということでしょうか。本当に現実的なこととして受け取ってよろしいでしょうか。

一般会費など、ほかの項目で赤字になっているところがあります。一般会員数減少が影響していると思われますが、収入が少なくなっているため、会費値上げがないか心配しています。会費を値上げしなくて大丈夫と言えるのか説明をお願いします。また今後、収入増に向けて、どういった活動や取り組みをしていくのかも説明をお願いします。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。

50名の新規会員獲得は非常に厳しいと考えておりますが、今後、法人として活動を継続していくうえで、なしとげなければならない目標と考えております。

前年度の新規入会は12名でした。いわゆる新型コロナウィルス制限が緩和されたこともあり、今後の活動は、より活発し、新規入会者を増やすことが必須と考えております。

ここ数年各理事の努力により経費削減を実行して参りました。これ以上経費削減については、活動が制限されることに直結し、法人の活動に急ブレーキがかかる悪循環に陥る可能性が非常に高くなります。

今後からは経費削減より必要案活動ができる予算が確保できる収入増の計画が必要です。

ミライ・アッセンブリーを中心進めていきたいです。キラーコンテンツがありませんので、皆さんの協力を、よろしくお願いします。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

◆質問・意見等（敬称略）

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対しての回答】

◆質問（敬称略）

相良二朗：

署名、又は記名と押印なのか。署名又は記名、と押印なのか。

■回答：ご質問いただきありがとうございます。記載した内容が分かりにくく申し訳ございませんでした。

「署名」又は「記名と押印」を意図していました。今後、分かりやすい表現を心がけます。

◆意見（敬称略）

白鳥智子：

「2023年度定時社員総会のお知らせ」には「総会をやむを得ず欠席される場合のみ同封の「議決権行使書」に議決をご記入いただくか～」と書かれているのに「議決権行使書」「委任状」の注意事項に「今年度の定時社員総会は会長以下最小限の人数で実施するため「議決権行使」又は「委任」での参加をお願いいたします。」となっているのは矛盾しているのではないか？「じゃあ私はどうしたらいい？」と少々わかりにくいです。お知らせの文章を検討する必要があったのでは？と思いました。

■回答：混乱を招くような記載内容、大変申し訳ございませんでした。

今回は、カンファレンス会場にて対面で定時社員総会を開催しますので、「総会をやむを得ず欠席される場合のみ同封の「議決権行使書」に議決をご記入いただくか～」というのが正しい記載でした。「今年度の定時社員総会は会長以下最小限の人数で実施するため「議決権行使」又は「委任」での参加をお願いいたします。」というのは、ここ数年、コロナの影響により最小限の人数で開催していた時のお願いでした。発送前の資料確認が不十分で、前の記載内容が残ってしまいました。今後、発送前の十分な確認を心がけます。ご指摘ありがとうございました。

第5号議案 新役員の承認について

議長より経緯説明がされた。

現役員の任期は2023年度定時社員総会までとなっています。本来であれば、2023年度役員候補者選挙の結果を踏まえて、理事及び監事並びに会計監査人は、社員総会の決議によって選任する、と定款第34条において、定められておりますが、今回の選挙におきまして、理事会の選挙関連業務に関する不手際もあり、選挙の実施が大幅に遅れてしまいました。大変申し訳ございません。

つきましては、「第5号議案 新役員の承認について」の審議は、別途、臨時総会を開催させていただき、対応させていただきたいと考えています。臨時総会の開催詳細につきましては、また追って協会ホームページ等でご案内させていただきたいと思います。ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんが、どうぞご協力の程、よろしくお願ひいたします。

2023年度臨時社員総会

2023年9月27日（水）18時～ 豊洲文化センター 第1研修室 (H.C.R. 2023会期中)

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2023（令和5）年度定時社員総会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（13時31分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に記名・押印する。

2023年8月24日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2023（令和5）年度定時社員総会

議長 河合俊宏 印

議事録署名人 佐藤史子 印

議事録署名人 松田靖史 印